

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果報告【中学校】

1 調査日

令和3年5月27日（木）

2 調査集計対象

中学校第3学年生徒 全国 903,253名（うち江戸川区 4,634名）

3 区内実施校数

全中学校 33校

4 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

5 調査内容

① 教科に関する調査

- 国語・数学

② 生活習慣や学習環境に関する調査

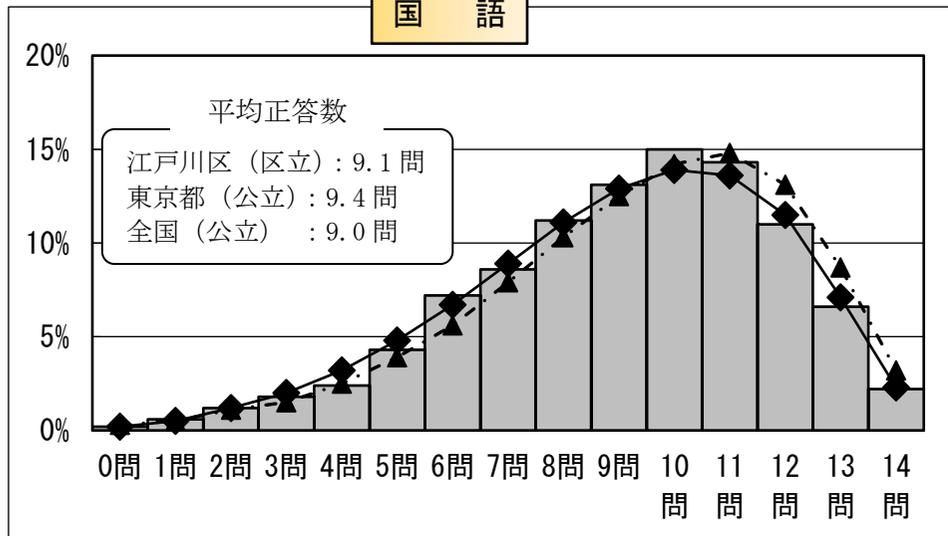
- 生徒質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）
- 学校質問紙調査（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査）

江戸川区教育委員会教育指導課

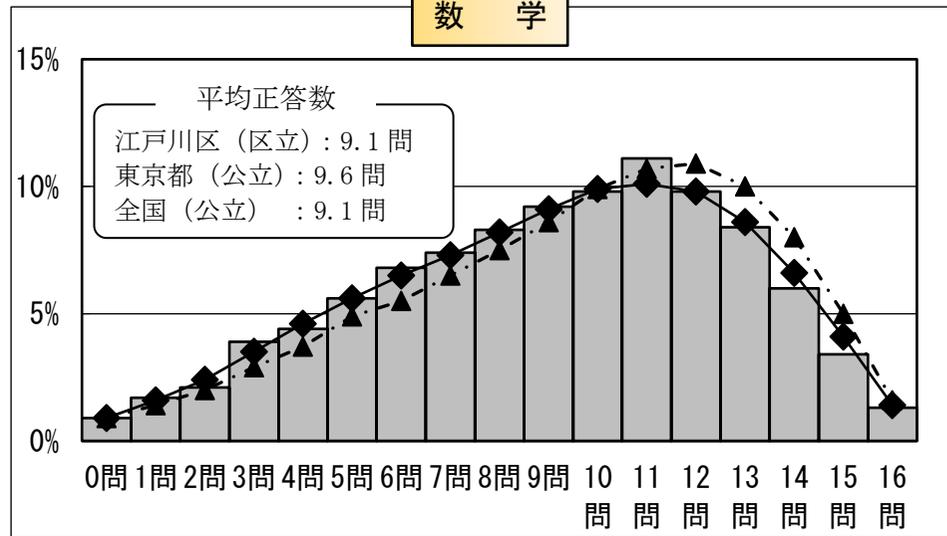
令和3年度 全国学力・学習状況調査結果報告【中学校】

正答数分布

国語



数学



江戸川区（区立） -▲- 東京都（公立） ◆ 全国（公立）

<四分位における割合（都全体の四分位による）>

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

上位 ← → 下位

国語	A層 11～14問	B層 10問	C層 8～9問	D層 0～7問
江戸川区（区立）	34.1	15.0	24.3	26.3
東京都（公立）	39.8	14.2	22.8	23.3
全国（公立）	34.5	13.9	24.0	27.5

%

上位 ← → 下位

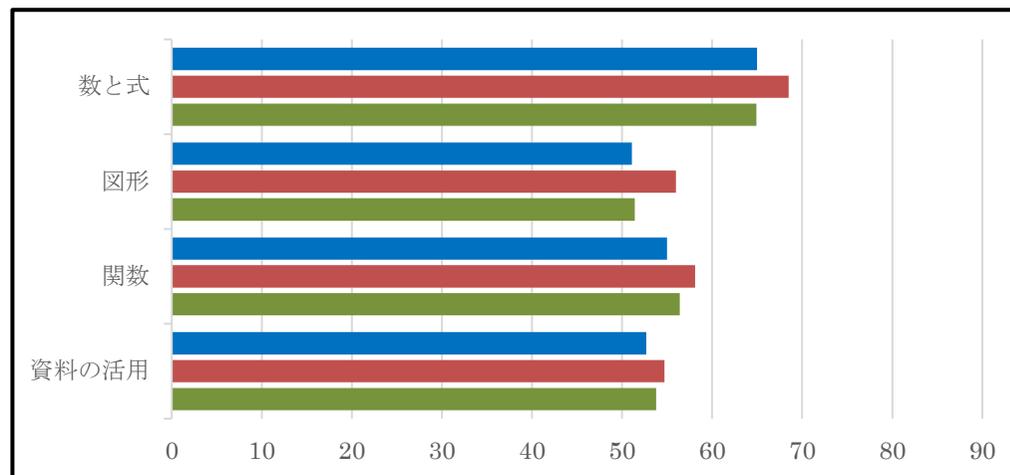
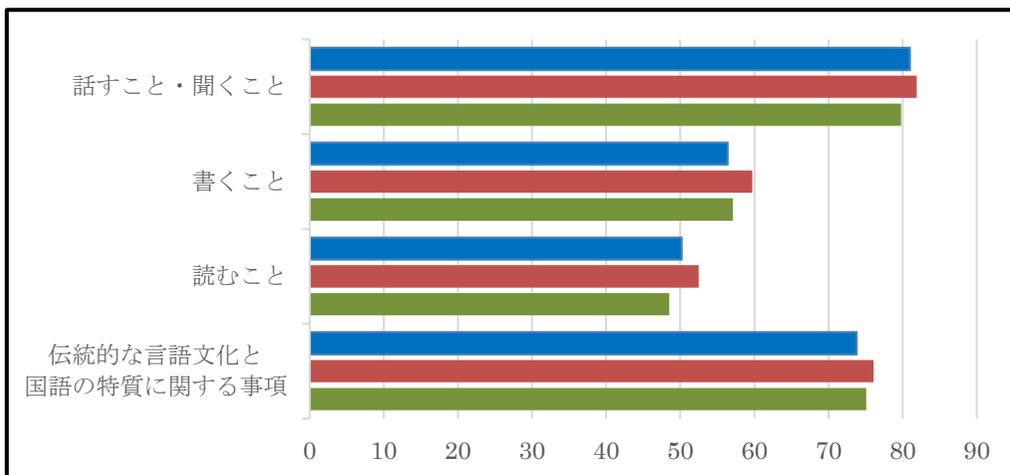
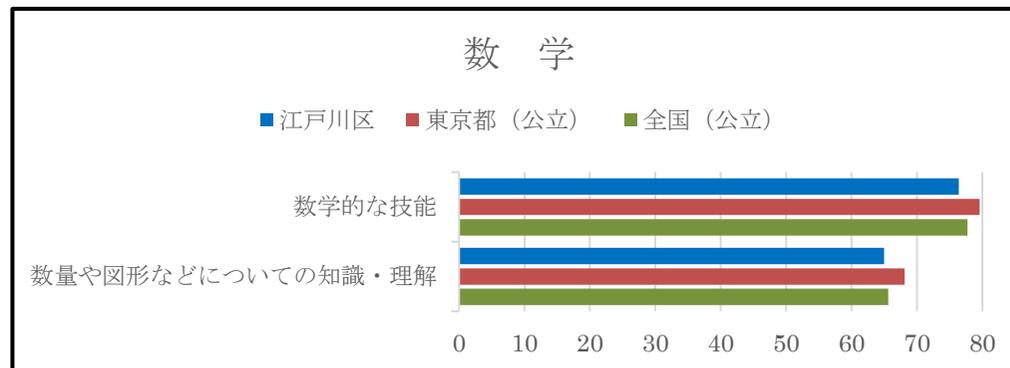
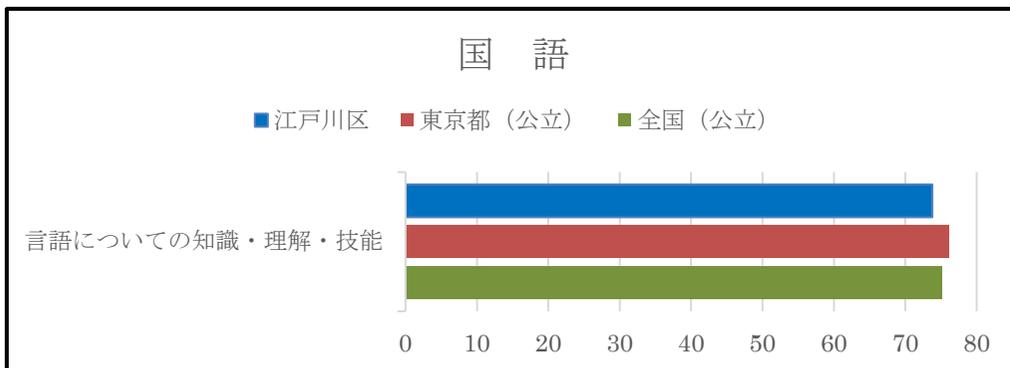
数学	A層 12～16問	B層 10～11問	C層 7～9問	D層 0～6問
江戸川区（区立）	28.9	20.9	24.9	25.4
東京都（公立）	35.5	20.6	22.6	21.3
全国（公立）	30.5	20.0	24.6	25.1

%

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果報告【中学校】

「領域別」の結果

以下、平均正答率（％）を示す。



【平均正答率の差】

	国語	数学
江戸川区（区立）	65%	57%
東京都（公立）	67%	60%
全国（公立）	64.6%	57.2%
都との差	-2ポイント	-3ポイント

【全国平均、東京都平均との関係】

<全国との関係>

- 国語・数学とも、全国平均正答率を上回る、若しくは同程度である。
- 学力の基礎・基本を示す「知識・理解・技能」において、国語、数学とも全国平均を下回る。

<東京都との関係>

- 国語、数学ともに、全ての領域において都平均を下回る。
- 国語「知識・理解・技能」において-2.3ポイント、数学「知識・理解」において-3.1ポイント、「技能」において-3.2ポイント下回る。

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果報告【中学校】

国語 「設問別」の結果と課題

全国より平均正答率が高い問題

3

【出題の趣旨】 3 二

場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する。

【正答率】

江戸川区	61.0%
東京都	62.2%
全国	58.7%

【本区のこれからの取組】

場面の展開や登場人物の相互関係など、文脈にそってストーリーを確認しながら読む力を引き続き育むため、多くの読み物に触れる機会を意図的に作る。さらに、読んで理解したことを自分の言葉で発信する場面を通し、「読むこと」の楽しさや意義を感じさせる体験をさせることが必要である。

二 線部A「喝采してやる」、線部B「とった」のそれぞれについて、「吾輩」の動作である場合は1、「黒」の動作である場合は2、「亭主」の動作である場合は3を選びなさい。

「いたち、ついでに、鼠のすこし大きいぐれえのものだ。こんちきしょうって気で追っかけて、とうとうどぶの中へ追いこんだと思ひねえ。」
 「うまくやったね」と喝采してやる。
 「ところがおめえ、いざついでに鼠を見ると、やつめ最後つ尻をこきやがった。くせえのくさくねえのって、それからつえものはいたちを見ると胸が悪くならあ。」
 彼はここにいたつて、あたかも去年の臭気を今なお感ずることく、前足をあげて鼻の頭を二、三べんなでまわした。吾輩も少々気のどくな感じがする。ちつと景気をつけてやろうと思つて、
 「しかし鼠なら、君にいらまされては百年目だらう。君はあまり鼠をとるのが名人で鼠ばかり良うものだから、そんなにふとつて色つやがいいのだらう。」
 黒のごきげんをとるためのこの質問は、ふしぎにも反対の結果を呈出した。彼は啞然として大息していう。
 「考げえるとつまらねえ。いくら稼いで鼠をとつたつて——いつてえ人間ほどふてえやつは世の中にいねえぜ。人のとつた」

無解答率が高い問題

4

宛先: △△△@△△△△.△△.jp
 件名: Re: 焼き物作りの体験について
 2021/05/13
 第一中学校 青木 太郎 様

ふるさと焼き物館の前田です。焼き物に興味をもってくださり大変うれしく思います。ご希望の6月16日(水)の午後は、以下のコースの受付が可能です。
 〈Aコース〉粘土を①伸ばして板状にし、皿を作ります。
 〈Bコース〉ろくろ台(回転台)を用いて花瓶を作ります。
 ご希望のコースとそれぞれの参加人数が決まりましたら、メールでお知らせください。どちらのコースも14時から開始しますので、遅れないようにいらっしゃってください。
 なお、地元の土や製法の詳細については、当日ご説明しますが、他にも知りたいことがありましたら、体験中に随時お尋ねになってください。ご連絡をお待ちしております。

ふるさと焼き物館 前田 花子

ふるさと焼き物館 前田 花子 様
 (中略)当日は開始時間の10分前に④行く予定です。
 第一中学校 青木 太郎

【出題の趣旨】 4 一①② 三

文脈に即して漢字を正しく読む。
 相手や場に応じて敬語を適切に使う。

	【読みの正答率】	【読みの無解答率】	【敬語の正答率】	【敬語の無回答率】
江戸川区	92.4%	2.6%	江戸川区 34.6%	2.5%
東京都	93.7%	2.2%	東京都 39.1%	2.2%
全国	93.2%	1.9%	全国 40.3%	1.7%

【本区のこれからの課題】

各教科における基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得は、学力向上において必要不可欠な要素である。引き続き、学力の基盤となる基礎・基本の徹底に向けて取組を進める。

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果報告【中学校】

数学 「設問別」の結果と課題

全国より平均正答率が高い問題

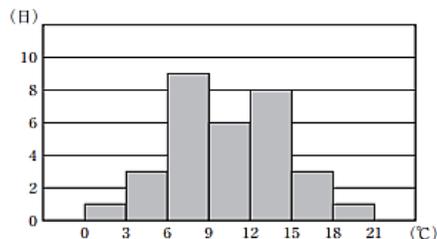
- 8 桃花さんは、5月にA市のキャンプ場に行くことになりました。キャンプの準備をするために、キャンプ場の過ごしやすさについて、気候に着目し、A市の昨年5月の最高気温、最低気温、日照時間、最大瞬間風速、降水量をインターネットで調べました。さらに、調べた最高気温から最低気温をひいて気温差を求め、下の表のようにまとめました。

調べたこと

日付	最高気温(℃)	最低気温(℃)	気温差(℃)	日照時間(時間)	最大瞬間風速(m/秒)	降水量(mm)
1日	20.9	6.9	14.0	5.8	7.4	0.0
2日	25.9	9.1	16.8	12.0	7.3	0.0
3日	27.3	12.8	14.5	10.3	8.2	0.0

気温差のヒストグラム

(1) 桃花さんは、表から、気温差が大きい日や小さい日があることが気になり、気温差の分布のようすを次のヒストグラムにまとめました。



⇒気温差が9℃以上 12℃未満の階級の度数を求めなさい。

【出題の趣旨】8 (1)

ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる。

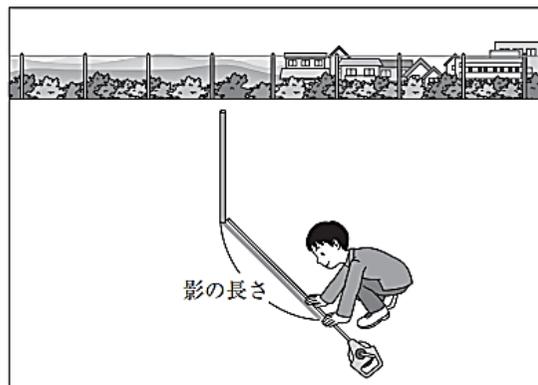
【正答率】江戸川区 84.3% 東京都 85.1% 全国 83.0%

【本区のこれからの取組】

問いや課題を正確に理解し、身に付けた知識・技能を活用して自ら考え、判断し、表現する学習場面を意図的に作り、繰り返し学習することで論理的思考力をさらに伸ばしていく。

都・全国より平均正答率が低く、無解答率が高い問題

- 4 長さが1mの棒を地面に対して垂直に立てたときにできる影の長さについて、ある日の午前8時から1時間おきに、午後4時まで調べました。



次の表は、午前8時から経過した時間とそれに対応する影の長さを表しています。

午前8時から経過した時間と影の長さ

経過した時間(時間)	0	1	2	3	4	5	6	7	8
影の長さ(cm)	190	124	96	80	79	96	130	193	350

⇒ ① は ② の関数である。①②に当てはまる言葉を書きなさい。

【出題の趣旨】4

関数の意味を理解している。

【正答率】

【無解答率】

江戸川区 45.3%

11.7%

東京都 50.2%

9.1%

全国 48.0%

9.3%

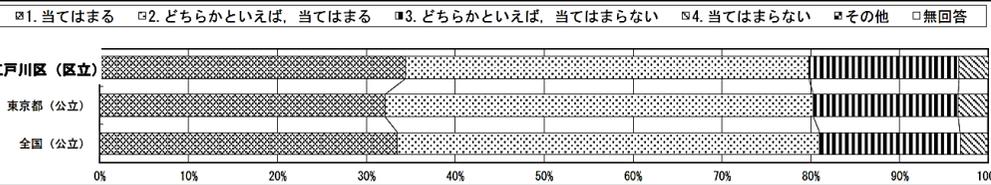
【本区のこれからの課題】

基礎的な知識を問う問題である。各教科における基礎的な知識・技能を確実に定着させ、さらなる学力の向上に努める必要がある。

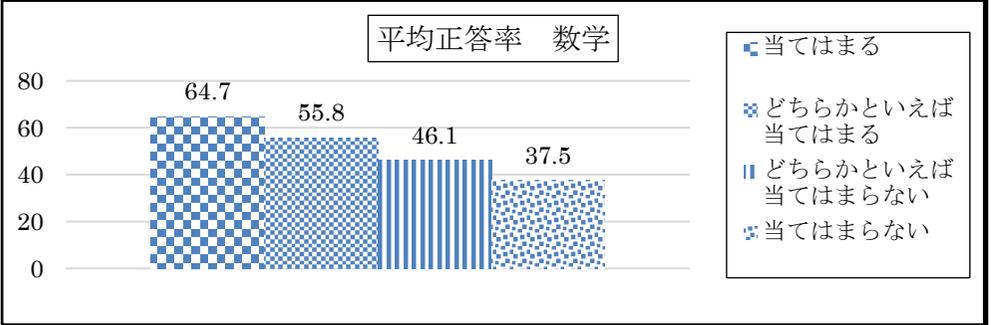
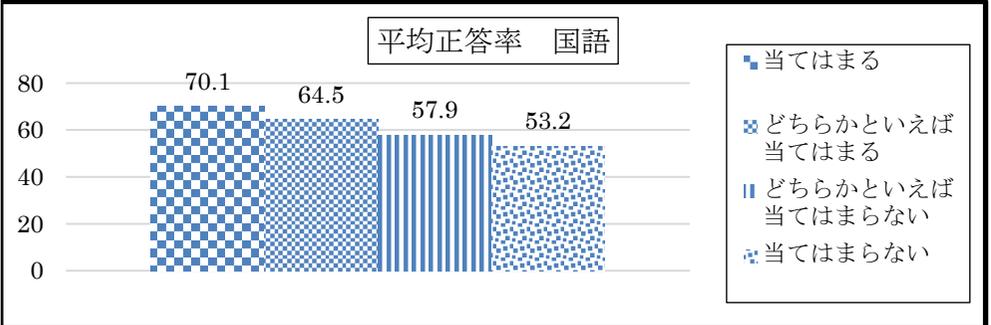
令和3年度 全国学力・学習状況調査結果報告【中学校】

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

33 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



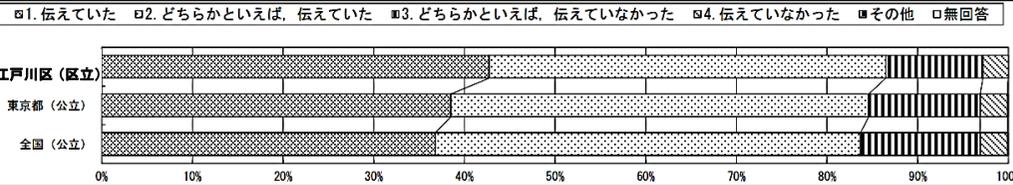
授業への主体的な取組と学力のクロス集計



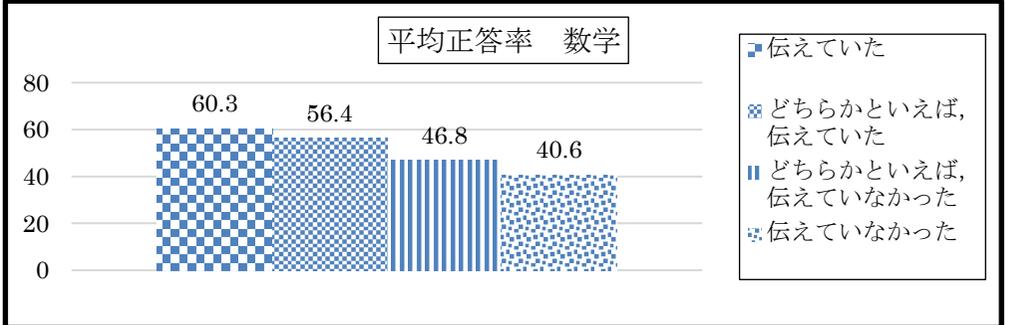
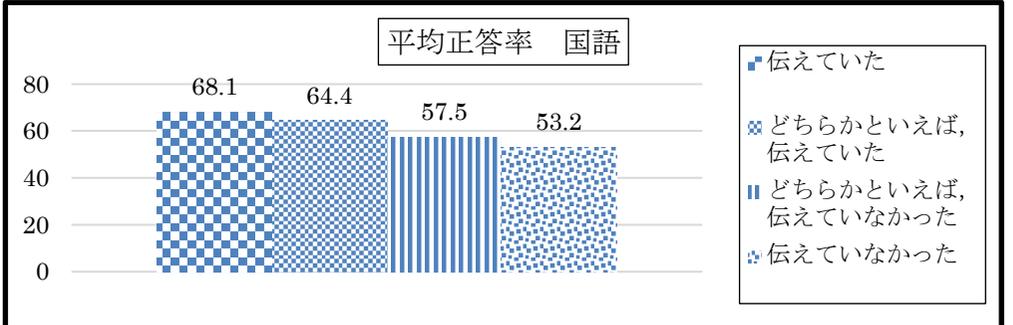
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び都を若干下回っている。課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいると回答した生徒の方が、そうでない生徒よりも平均正答率が高い傾向にある。生徒が課題に対して主体的に取り組むことができるよう、授業の導入や教材の内容、課題提示等の工夫をし、自主的・自発的に学習に取り組む態度を養う必要がある。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

31 1、2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達への考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか。



話し合う活動と学力のクロス集計

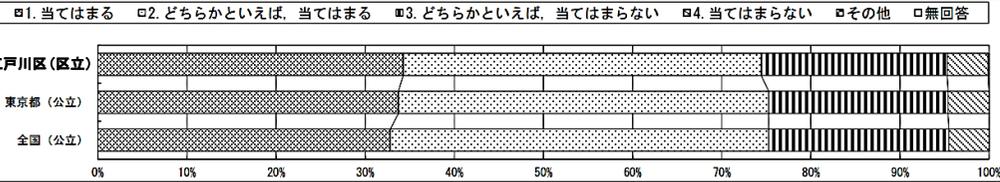


「伝えていた」「どちらかといえば、伝えていた」と回答した生徒の割合が、都と全国の割合を上回り、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業改善がされていると判断できる。また、「考えを伝えていた」と答えている生徒は、そうでないと答える生徒より、国語・数学とも高い正答率が見られる。引き続き、生徒の主体性や対話を重視した授業改善を進める必要がある。

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果報告【中学校】

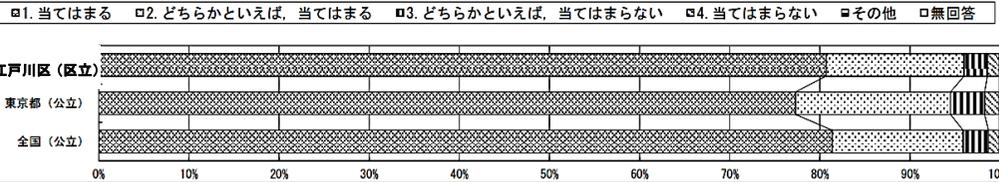
自己肯定感・人間関係等

14 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。

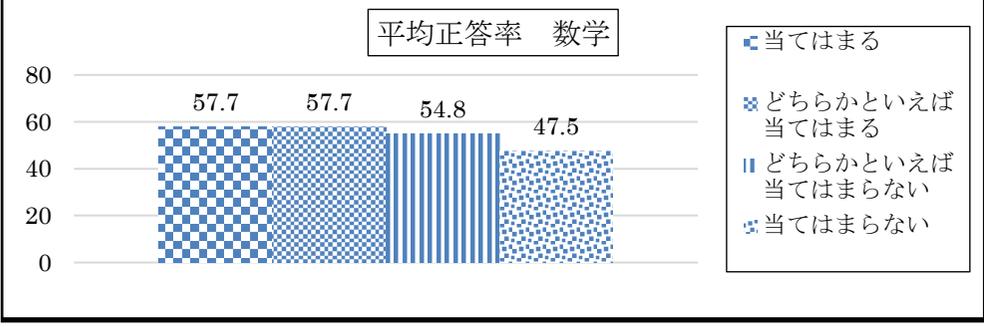
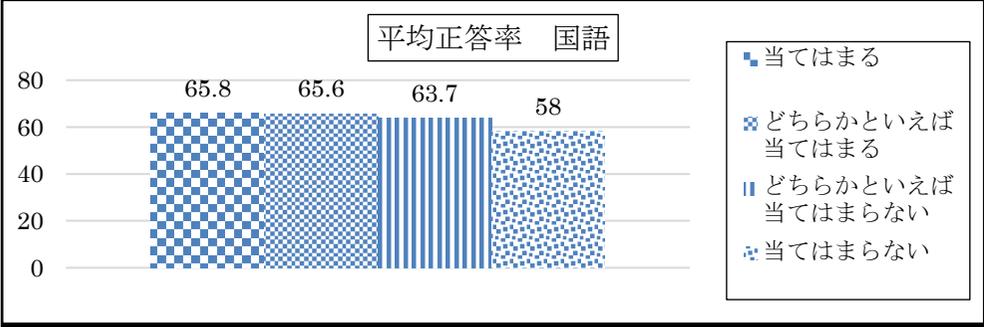


規範意識等

11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

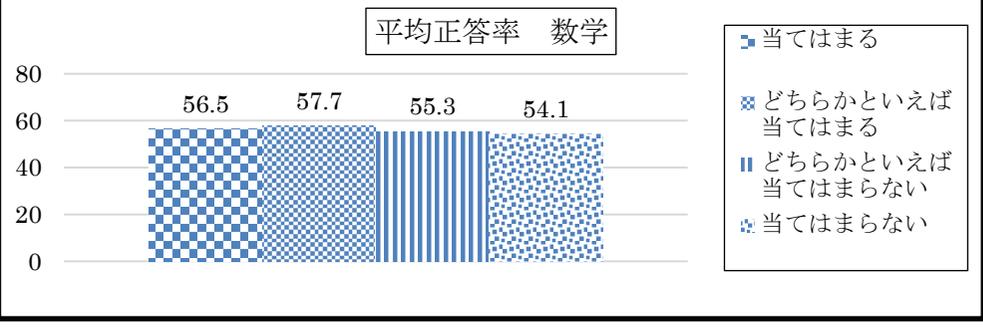
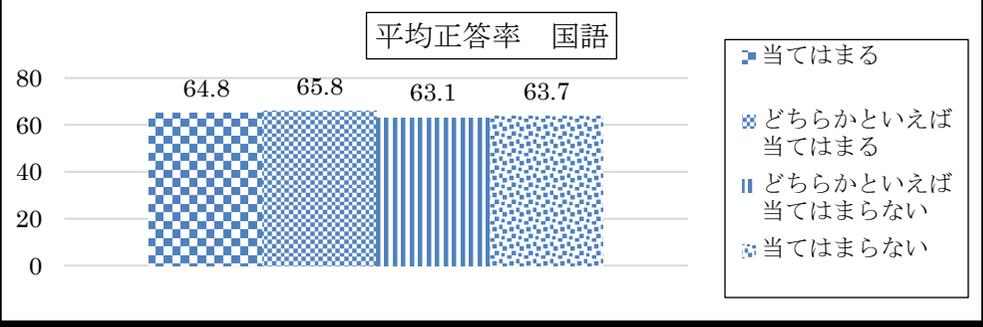


自己肯定感の高まりと学力のクロス集計



「当てはまる」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び都を上回っている。自分が思っていることや感じていることを、言葉できちんと表現できていると感じている生徒の方が、そうでない生徒よりも平均正答率が高い傾向にある。
 学習場面及び友達同士でのやり取りの場面等において、自分の考えを適切に表現することは、学習効果を高めたり、良好な人間関係により自己肯定感を高めたりする。生徒の主体性を高める場면을意図的に作るとともに、言葉の語彙を高め、適切に表現する力を養う必要がある。

規範意識の高まりと学力のクロス集計



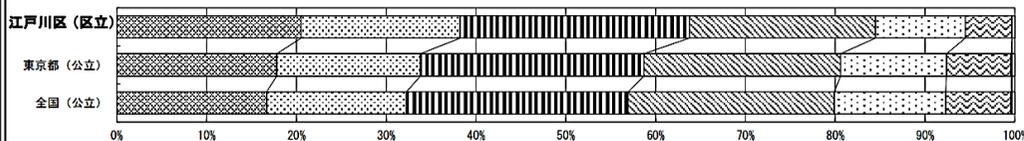
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答した生徒の割合が、都と全国の割合を上回り、区内生徒の規範意識の高さが分かる。しかし、「いじめはいけない」と答えている生徒と、そうでないと答える生徒との間に、正答率の相関は見られなかった。
 ただ、生徒一人一人の規範意識を高め、そういった生徒の努力や態度を認め励ますことで、きまりを守ることの心地よさを味わわせるとともに、授業を効率的・効果的に進めていく必要がある。

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果報告【中学校】

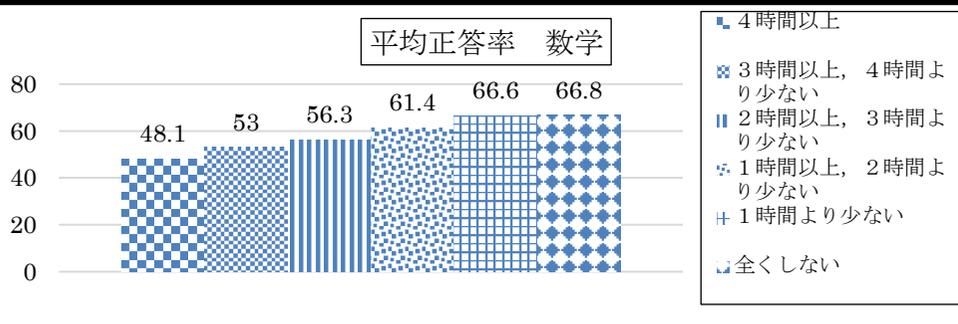
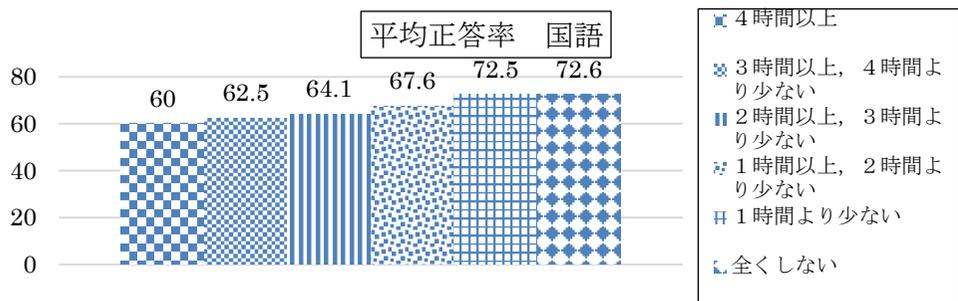
生活・学習習慣等

5 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

- 1. 4時間以上 □2. 3時間以上、4時間より少ない □3. 2時間以上、3時間より少ない □4. 1時間以上、2時間より少ない
 □5. 1時間より少ない □6. 全くしない ■その他 □無回答



テレビゲームの時間と学力のクロス集計



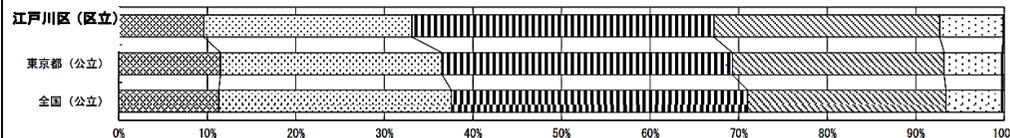
テレビゲームをする時間が1日あたり4時間をこえる生徒の割合が、都及び全国の割合を上回っている。テレビゲームに費やす時間が少ない生徒の方が、多い生徒よりも平均正答率が高い傾向にある。

SNS家庭ルールへの順守及び生活習慣を整えることを徹底させ、家庭学習の時間を確実に確保することで、学力の向上に努めていく必要がある。

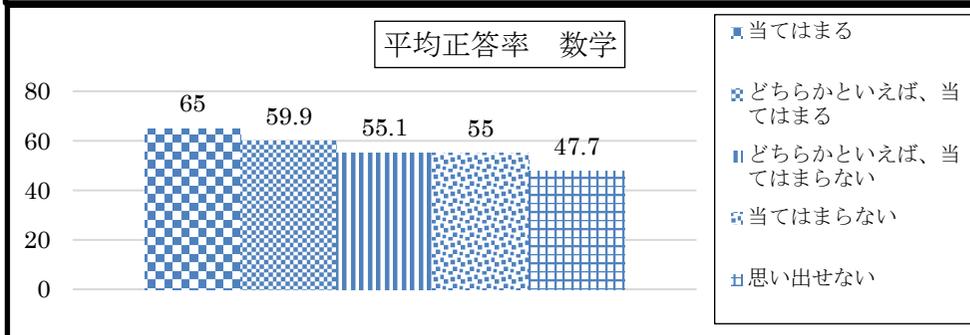
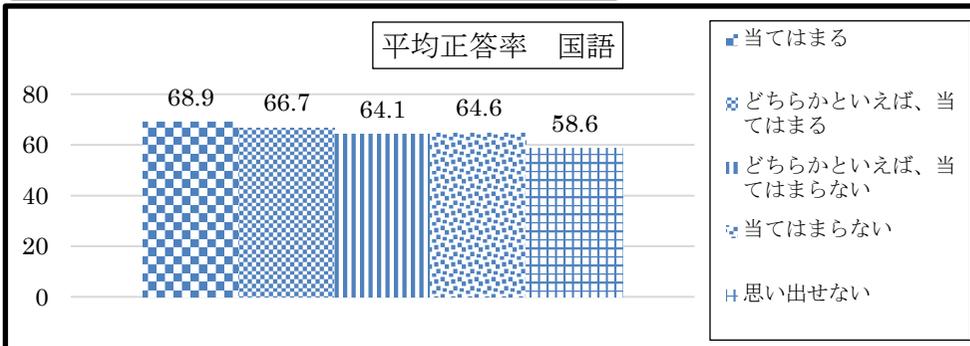
新型コロナウイルス関連

65 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。

- 1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □5. 思い出せない ■その他 □無回答



休校中の学習の進め方と学力のクロス集計



「休校中、計画的に学習を続けることができなかった」と回答した生徒の割合が、全国及び都を上回っている。休校中も計画的に学習を続けられたと回答した生徒の方が、そうでない生徒よりも平均正答率が高い傾向にある。

授業以外でも生徒が自発的に学習を続けられるよう、補習教室の活用、タブレット端末での家庭学習等、生徒が自ら意欲的に学習できる環境を整えることが必要である。

令和3年度 学力向上に関わる主な取組【中学校】

○「確かな学力向上推進プラン」の改訂

- ・「江戸川区立学校における学力向上に向けた取組の指針について」における論点を基に、学力向上に向けた具体的な取組を推進

○「補習教室」の実施

- ・全ての生徒の基礎・基本の確実な定着を図るため、「補習教室」を年間 35 回以上実施
- ・「放課後補習教室」事業の実施（令和3年度モデル校：21 校）

○ガイドラインに基づく効果的な「習熟度別指導」「少人数指導」の推進

- ・数学、英語の授業において、効果的な「習熟度別指導」「少人数指導」を実施

○ICTを活用した協働学習の推進

- ・各教科等の授業で一人一台タブレット端末を活用し、授業改善を実施

○学校図書館の活用

- ・学校図書館の環境整備を進め、教科等で学校図書館を活用
- ・学校図書館スーパーバイザーを派遣し、学校図書館の整備及び活用に向けた指導・助言を実施
- ・学校司書を4年間で全校に派遣し、学校図書館の運営・管理を実施

○「読書科」の充実

- ・読書を通じた探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成（全校の各学年で年間 35 時間実施）

○eライブラリアドバンスの活用

- ・eライブラリアドバンス（国語、社会、数学、理科、英語）を活用した放課後補習を実施（ICT 支援員を派遣）
- ・生徒の自宅での活用を推奨（IDとパスワードを配布）